

2020年12月1日

関係者各位

一般社団法人クリーンエア
東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル地下1階

慢性呼吸器疾患対策推進議員連盟総会のご報告



12月1日(火)衆議院議員第二議員会館にて開催された、慢性呼吸器疾患対策推進議員連盟の総会に一般社団法人クリーンエアが出席いたしました。

総会では当法人の橋本修理事長、筑波大学人間総合科学学術院久野譜也教授らが重症化リスクを有する人の明確化によって新型コロナウイルスの重症化予防対策を論じる必要性があると述べ、与党議員に意見を仰ぎました。

橋本理事長は「COPDはコロナ重症化リスクが高いにも関わらず、糖尿病や高血圧などと比べて認知度や診断される機会が少ない疾患である」と指摘、さらに呼吸機能と運動の相関から「COPDはフレイル、認知症の進展を加速させる要因ともなる」と指摘しました。

加えて久野教授は、コロナ禍の外出頻度の減少と社会参加の制限によって高齢者の身体・認知機能の低下が引き起こされていることを指摘、このような健康二次被害を防ぐためには国民のヘルスリテラシーを向上させる広報体制の充実が求められると述べました。

以上の観点から橋本理事長は、コロナ禍における重症化予防対策及び健康二次被害の予防のためには、COPDスクリーニング質問票や最新テクノロジーなどを活用し、基礎自治体と患者発見に積極的に取り組んでいく必要性があると提言を取りまとめました。

鴨下会長はこれらの提言を受け、関係省庁に提出する考えを示しました。

<本件に関するお問い合わせ>

一般社団法人クリーンエア TEL：03-6457-9898 E-mail：info@cleanair.or.jp